

シルエット・図学による腕付根線の近似平面展開
共立女子短大 藤田信子

目的 生体を対象として腕付根線の死再の解析を試み、形態把握とし、着易い着心地よい衣服設計のための腕付根線の近似平面展開図を求める。

方法 本研究のために製作した計測補助具を被験者の腕付根に装着し、正面、側面、背面から写真撮影し、シルエット・図学により腕付根線の形態をとらえ、腕付根線は頂角と軸を共有した円錐群の曲面上の真の連続として解析し、腕付根線の平面展開図を作成した。

結果 生体の腕付根線の形態把握と近似平面展開図を容易に採取することが出来た。従来、困難であった生体の死再の部位の計測にこの方式は応用可能であり、衣服設計のための資料の採集方法として有効である。